

**Q1: パーソナルプレゼンテーション(以下PPと略記)とは、どのようなもので
すか？**

A: 入学者選抜 2 日目に、実技検査として PP (5 ~ 7 分以内) と面接 (3 分) を行います。PP とは、中学校で学んだことやこれまでに取り組んできたこと等を基に、自分の個性・能力・技術・意欲等を各自工夫した方法で発表するというものです。みなさんが中学校で頑張ってきたことや、興味・関心をもっていることについて、積極的に発表してください。

PP では、「なぜその発表内容にしたのか」「本校でどのような学びを深めたいのか」を述べてから発表するか、または発表中に述べてください。5 教科の勉強が得意という人だけでなく、芸術(音楽や美術や書道)が得意な人、部活動でがんばってきた人、生徒会活動で活躍した人など、様々な自慢をもった人がいると思います。本校は、そうした自慢できる努力を続けてきた生徒を幅広く募集しています。

**Q2: 人前で話すことが苦手な人は、どのようなPPをすればいいですか？
原稿や作文を読んではダメですか？**

A: すらすらと発表できなくても大丈夫です。自分が中学校でがんばって取り組んできたことなどをアピールしてください。発表の練習をしっかりとってきた人は、その意欲が面接官に伝わるとおもいます。なお、原稿や作文を読むことはできませんが、模造紙などに発表内容をまとめたものを掲示し、それを指し示しながら発表することはできるので工夫してください。

**Q3: 実技発表①では、どのような曲を演奏すればいいですか？ 楽譜を見て演奏してもいいですか？ 繰り返し(リピート)を省略して演奏したほうがいい
ですか？**

A: 選曲は自由です。また、楽譜については、楽器演奏、歌唱は暗譜に限るとしていますが、自分で作曲した作品の場合は、楽譜を見て演奏して構いません。なお、PP の時間は限られているので、繰り返しを省略するなどの工夫が必要かと思ひます。

Q4: 実技発表②では、どのような発表をすればいいですか？

A: 本校には、中学生の頃から保育に興味があり、保育に関する勉強をしたくて入学する生徒がたくさんいます。中学生のときに保育園などで実践した実技がある人は、この発表を選択してもらえたらと思ひます。この発表では、園児が目の前にいるつもりで実技をしてください。

Q5: 作品発表③、④では、どのような発表をすればいいですか？

A: 中学生時代に自分で制作した作品を 3 点以上持参して、その作品について発表してください。内容については特に指定はありません。各自で考えて発表してください。例えば、「制作した理由や目的、時期」、「技法」、「制作にあたり注意した点」、「完成したときの感想」など、自由に工夫して発表してください。

Q6: 作品発表⑤では、どのような発表をすればいいですか？

A: 「情報」に関わる内容であれば構いません。特に指定はありませんが、例えば中学校で行った実習で制作したものや、その経験を生かして制作したものについて発表するなどが考えられます。なお、発表では情報端末等は使用できませんので、作品の写真を模造紙に貼るなど、各自工夫をしてください。

Q7: 体験発表⑥、⑦では、どのような発表をすればいいですか？

A: ⑥では職場体験を通じて体験したことや学んだことなど、⑦では学校外での学習(遠足や修学旅行等を含む)を通じて体験したことや学んだことなどを発表してください。例として、幼児ふれあい体験を挙げていますが、実技を伴う発表をしたい場合は実技発表②を選択し、実技をせずに発表する場合はこちら(体験発表⑦)を選択してください。

Q8: 体験発表⑧では、どのような発表をすればいいですか？

A: 体験発表⑥、⑦以外の体験が当てはまります。例えば、各教科の学習活動では、英語のスピーチコンテストに出場した体験や、理科の星座の観察会に参加した体験などが挙げられます。また技術・家庭の工作や調理実習についての発表も考えられます。部活動では、その競技等を通じて体験したことやそこで学んだこと、県大会や近畿大会等に出場した体験などが挙げられます。その他、ボランティア活動など、中学生時代に体験した様々なことについて発表してください。

Q9: 調査・研究発表⑨では、どのような発表をすればいいですか？

A: 特に指定はありませんので、中学生時代に行った調査・研究等について発表してください。例えば、各教科の学習活動では、
〈国語〉自作の作品(詩・小説・短歌・俳句など)の発表など
〈社会〉郷土(史)についての調査や研究の発表など
〈数学〉統計・確率の実験、図形の研究の発表など
〈理科〉自由研究、実験の発表など
〈英語〉スピーチ、暗唱など
〈音楽〉音楽理論や音楽史の研究、楽曲分析の発表など
〈美術〉美術史の研究、技法の研究の発表など
〈技術・家庭〉工具についての研究、消費生活についての研究の発表など

また部活動では、科学部で行った実験についての発表や、新聞部で様々な人にインタビューをして調査した結果についての発表など、発表内容は多岐にわたると思われます。

Q10: 発表で使える黒板やホワイトボードの大きさは、どれくらいですか？ マグネット等の小物はありますか？

A: 教室の黒板、またはホワイトボード(縦0.9m×横1.7m)を使用します。ただし、黒板かホワイトボードの指定はできません。マグネットや指し棒等の小物は、各自用意してください。また、持参する物がある場合は、申告書に必ず記載してください。